

毎月23日は、
子どもといっしょに
読書の日

奄美図書館だより

平成26年3月1日発行
第273号(3月号)
鹿児島県立奄美図書館

〒894-0016 奄美市名瀬古田町1-1 0997-52-0244

HP address: <http://www.library.pref.kagoshima.jp/amami/>

E-mail address: ama-lib@pref.kagoshima.lg.jp

平成25年度 鹿児島県立奄美図書館生涯学習講座 あまみならでは学舎 終了

平成25年度 鹿児島県立奄美図書館生涯学習講座「あまみならでは学舎」8回の講座全てが、平成26年2月8日(土) 県民会館である平久美さんの「県半学(島県から学ぶもの)」の講座をもって終了しました。

今年度の講座は、文学・自然・医療・食文化・情報・音楽と幅広い分野で、今後の奄美の発展のためにも意義ある講座となりました。各講座の様子は、ビデオで収録しており、鹿児島県立奄美図書館で視聴することができます。

また、講座終了後に修了式を行い、6回以上受講された方20名に修了証書をお渡ししました。多くの方に受講していただき、感謝しています。

生きがいのある人生を築くとともに、潤いと活力のある地域社会の実現を図るために、平成26年度も多彩な内容を企画し、実施する予定です。楽しみにしていただきたいと思います。



奄美先人の知恵 方言の日

2月18日は、大島地区「方言の日」です。この日は、大島地区文化協会連絡協議会(大島支庁総務企画課)が、近年、衰退しつつある奄美方言を保存・伝承していくことを目的として、平成19年度に「方言の日」と決めました。

奄美の民俗研究家として知られている恵原義盛氏は、1975年(昭和50年)、70歳の頃から、南海日日新聞に「奄美方言さんば」と題して、奄美の方言を一語ずつ掲載しました。そして、1987年(昭和62年)に『奄美方言さんば』『奄美方言さんば』として、本にまとめました。

『奄美方言さんば』の最初に紹介している言葉は、「ナーユムタ」です。それには、「古老達が日常さりげなく使って言えることばに、時折はっとさせられるものがあります。私達が忘れていたシマコトバで、とても面白いもの、あるいは昔の奄美の人の精神的高さを示すものがあることを知るからです。この古老達が居なくなれば、これらのシマコトバは消えるかも知れず、それは奄美の貴重な文化財を失うことになるわけです。それで今のうちにこれを記録しておく必要を痛感し、忘れていたことばを耳にする都度ノートしているので参考に供したく、この欄を設けて貰うことにしました。ユムタはユムとウタであり、ユムは読むで、ウタは詩で、国語にも言霊ということばがある通り、ユムタには霊力が宿るとされます。それは己の魂の発露であるからです。ナーは空しい、要らぬことであり、要するに無駄口ということで、要らぬおしゃべりは神に咎められることになるわけです。これからずつつづけるこの拙文がナーユムタにならぬことを祈り、最初に取り上げた所以。」とあります。

恵原氏は、この本の「あとがき」の中で、「興味深いことばの語源や正しい解釈を考えて貰いたく、また、奄美方言の美しさを味わって頂きたく」掲載を始めたこと、「奄美の方言に奄美の心が生かされており、それは古代日本の心であり、それは『キョラ』であると信じている」こと、「人間は言葉を持つことが他の動物との差異であり、言葉が文化の根源である」と記しています。方言が使われなくなり、衰退していくことを危惧して、方言について調べ、記録を残したのです。

しかし、奄美の方言は、2009年(平成21年)にユネスコが発表した「ユネスコ世界危機言語地図」で、消滅の危機にある言葉として記載されました。先人たちが継承してきた奄美の方言の意味を知り、奄美の人々の心を感じてみませんか。そして、次の世代へ、美しい奄美の方言を伝え、奄美の文化について思いを深くしてみませんか。

インターンシップ・職場体験学習

奄美図書館では、毎年、高等学校・中学校の生徒がインターンシップ・職場体験学習を行っています。平成25年度も、奄美高等学校・小宿中学校・赤徳中学校・芦花部中学校・金久中学校・朝日中学校の6校18名の生徒が、カウンター業務・本の装備・新聞製本作業・「おはなしの森」での読み聞かせ等の様々な仕事を体験しました。

終了した時には、「図書館の仕事はカウンター業務や本並べだと思っていたけれど、実際には、本のラベル貼りや新聞製本など、たくさんの仕事があることを知りました。」「職場体験では、あいさつや時間の大切さについても学ぶことができました。これからの生活の中でいかしていこうと思います。」等の感想も聞くことができました。

一人一人が仕事の大変さや楽しさを味わったり、図書館の役割について考えてくれたりして、職場体験での経験を、学校生活や地域の活動の場できっと活かしていることと思います。



第10回ネリヤカナヤ創作童話コンクール 受賞作品集 完成

第10回(2013年度)ネリヤカナヤ創作童話コンクールの入賞作品54点(第10回記念大賞1点、最優秀賞8点、優秀賞19点、佳作26点)と応募者全員の氏名・作品名を掲載した「第10回ネリヤカナヤ創作童話コンクール受賞作品集～奄美の小さな童話作家たち～」が出来上がりました。

表紙絵は、与論町立那間小学校2年の枝花さんの作品「ザリガニをつつたよ」(第64回鹿児島県図画作品展「県教育委員会賞」)です。

作品集は、大島地区の小・中学校、高等学校、大島養護学校、県内の市町村立図書館、公民館図書室へ配布いたします。また、県立奄美図書館でも、1階児童閲覧室・2階郷土コーナーにて閲覧・貸出をいたしますので、ぜひ、読んでいただきたいと思います。奄美の豊かな風土・自然に抱かれて育った子どもたちのすばらしい感性を感じることができると幸いです。

最後になりましたが、第10回ネリヤカナヤ創作童話コンクールの実施と作品集発刊にあたり、御理解と御協力をいただきました関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。



3月の行事カレンダー



月	日	曜	行事・催し
3	1	土	おはなしさんぽ 10:30~ 放送大学第28回特別講座 13:30~15:00
	3	月	休館
	5	水	おはなしの森 15:30~
	10	月	休館
	12	水	おはなしの森 15:30~
	13	木	青嶺短歌会 13:00~17:00
	14	金	育児サークル「こっちむいて」10:00~
	15	土	あまみ子どもライブラリー 10:00~ 読書会「島にて」10:00~
	17	月	休館
	19	水	おはなしの森 15:30~
	23	日	奄美郷土研究会 14:00~16:30
	24	月	休館
	25	火	休館(整理研修)
	26	水	おはなしの森 15:30~
	31	月	休館
4	20	日	一日図書館長 こどもの読書週間企画展 ~5/11
	27	日	本もともだちおはなし会

4月の休館日予告

7日(月)・14日(月)・21日(月)・

25日(金)・28日(月)

今月の新着図書コーナー

読書の風を
奄美から

児童

こんなかいじゅうみたことない

藤本 ともひこ

WAVE 出版

よーし、よーし!

サム・マクブラットニィ

光村教育図書

白い街あったかい雪

鎌田 実

ポプラ社

おとのさま、でんしゃにのる

中川 ひろたか

佼成出版社

ぼくたちいそはまたんていだん

三輪 一雄

偕成社

絶滅動物調査ファイル

里中 遊歩

実業之日本社

その他71冊

郷土関係

きよら島慕情

海野 さだ子

南方新社

グスクと按司 上・下

来間 泰男

日本経済評論社

その他21冊

おすすめの本

さようならようちえん

さこ ももみ 講談社

こばと幼稚園に通う、年長組のななこちゃんとお友達との卒園までの日々が描かれている絵本です。ピカピカどろだんごを上手に作る男の子や、水が苦手でなかなかプールに入れない女の子などの友達の紹介、七夕のお祭りやお芋掘りなどの幼稚園生活における先生や友達とのやりとり、雪の降った日の出来事などをとおして、子どもたちの成長を感じることができます。もうすぐ3月、卒園・卒業の季節に、ぜひ読んでほしい一冊です。

一般

会えてよかった

安野 光雅

朝日新聞出版

世界遺産をもっと楽しむための西洋建築入門

鈴木 博之

JTB パブリッシング

近大マグロの奇跡

林 宏樹

新潮社

その他178冊

小説・随筆

探偵部への挑戦状

東川 篤哉

実業之日本社

虹の見た日

澤田 ふじ子

幻冬舎

たからもの

北原 亜以子

講談社

世の中それほど不公平じゃない

浅田 次郎

集英社

その他39冊

進学・ビジネス支援

福祉・介護の資格と仕事

梅方 久仁子

技術評論社

その他2冊

あと1%だけ、やってみよう

水戸岡 鋭治 集英社インターナショナル

日本初の豪華クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」のデザインを手がけた著者の本です。水戸岡さんが、「ななつ星」に至るまで何を考え、どんなアプローチをし、技術者や職人をはじめとする周囲の人々とどんな仕事をしてきたかを軸に、私的デザイン論としてまとめた本です。また、列車だけでなく、観光地などの街づくりにも関わっています。何か特別なことをするのはなく、「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰」を心がけることが大事だとしています。仕事の哲学が詰まった本です。